

第1学年〇組 英語科学習指導案

日 時：令和7年〇月〇日（〇）第5校時

場 所：1年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

A L T：〇〇 〇〇

1 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit 7 “An Online tour of the U.K.”

2 単元について

本単元では、電話でのやり取り、オンラインでの画面越しのやり取り、スマートフォン上でのテキストのやり取りを通じて、自分が今していることを伝えることができるようになることを目指している。

題材は、登場人物が日本で友達とイギリスのオンラインツアーに参加している場面から始まる。その後、オンラインツアーにてガイドと会話をする場面、その最中にエディの母親から届いたチャットに応答する場面と発展する。昨今の技術革新の発展により、画面一つで世界中の国の様子や文化などに触れることができるようになったことで、海外がより身近な存在になったことについても考えさせながら活動に取り組みさせたい。

言語材料としては、現在形、感嘆文、及び現在進行形が使われている。特に現在進行形の文は、目の前の状況を描写する際によく使われる、非常に汎用性の高い表現である。現在進行形を使い、自分や周りの人が今していることを伝えたり、感嘆文を使って感動や驚きといった自分の感情、さらには何かを強調したい気持ちを相手に伝えられるようにしたい。

3 生徒の実態について<省略>

4 研究との関連

(1) 研究主題「英語で自分の思いや考えを主体的に表現することができる児童生徒の育成」

(2) 実現に向けての方策

① 自分の考えや思いを伝え合う活動（言語活動）を行う時間を多く設定する。

本単元では、友人同士でお互いの留学先についての情報をネット上でやり取りする活動を行う。そこで、相手に興味を持ってもらえるような留学先の紹介や相手との近況報告のやり取りができるように、単元の導入時や Small Talk など基礎的・基本的な文の用法を十分に確認し、テーマを変えて何度も練習する活動を行っている。

② 単元計画の作成をし、毎時間の指導計画の充実を図る。

本単元では、チャットで相手とやり取りをしている場面を想定しながら、自分が紹介したい国の情報について情報収集を行い、集めた情報をワークシートにまとめていく。

③ 単元目標に向けての各自の学習を補うような学習者用デジタル教科書の活用法を研究し、実施する。

生徒は教科書で扱っている文章や内容について、個別最適な学びの観点から、生徒の習熟度に合わせて聞き取る活動や読む活動において学習者用デジタル教科書を活用している。また、家庭学習など様々な活動においても、学習者用デジタル教科書を使って課題に取り組んでいる。

④ 小中の接続を踏まえた指導方法の改善・充実（カリキュラムの作成）を図る。

小学校6年生のUnit 1では、世界の国々について触れており、どのような国や文化があるのかを扱っている。また、Unit 3で外国への旅行をおすすめしていることにふれている。その中で、「You can ～」や「Do you know ～？」の表現を使っているので、やり取りの活動の際にそれらの内容について復習する。

5 単元の目標

自分が興味をもった国について、友人にも興味をもってもらうために、その国でできることなどを調べ、その内容を基に自分の考えを伝え合ったり、広告紙を作ったりすることができる。

- ・現在進行形や感嘆文の特徴やきまりを理解し、関心をもった国の基本情報や特徴について、自分の考えたことや感じたことを英語で書く技能を身に付けている。 〈知識及び技能〉
- ・関心をもった国の情報共有を通じて、自身が調べた国についてお互いが興味を持ってもらうために、その国がどのような場所で何ができるか情報や特徴について事実や自分の考えを整理し簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・関心をもった国の情報共有を通じて、自身が調べた国についてお互いが興味を持ってもらうために、そこはどのような場所で何ができるか情報や特徴について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 単元の評価規準

（本単元における「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り・発表〕」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと （書）	<知識> ①現在進行形や感嘆文の特徴やきまりを理解している。 <技能> ②関心をもった国の基本情報や特徴について、現在進行形や感嘆文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	関心をもった国の情報共有を通じて、自身が調べた国についてお互いが興味を持ってもらうために、その国がどのような場所で何ができるか情報や特徴について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	関心をもった国の情報共有を通じて、自身が調べた国についてお互いが興味を持ってもらうために、そこはどのような場所で何ができるか情報や特徴について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

7 単元の指導と評価の計画（7時間扱い）

時	ねらい（◆）・活動（○） ☆Small Talk のトピック	評価			◎評価規準〈評価方法〉
		知・技	思・判・表	態	
1	◆単元の目標を理解する。 ◆今していることについて説明をしたり、たずねたりすることができる。				終末の言語活動をイメージさせて、単元の見通しをもたせるとともに、活動への意欲を高める。
	○教師とALTとのやり取りを通して、キーセンテンスを確認する。 ○教科書の巻末にあるWord Roomを使って、現在の動作についてペアでやり取り				

	をする。				
2	◆エディがアナとの電話での会話で使用したフレーズについて話し手の意向を正しく捉える。 ○現在進行形の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。 ○学習者用デジタル教科書を使って、音読練習を行う。				
3	◆教科書の対話文を読み、引用するなどしながらロンドンについての情報をまとめる。 ○全体で本文に出てきた場所について調べる。 ○実際に行ってみたい国について調べる。				1～6時は記録に残す評価を行わないが、ねらいに即して、生徒の状況を把握して指導に活かす評価は毎時間行う。
4	◆エディと母親とのチャットのやり取りの内容を捉える。 ◆エディと母親とのやり取りを通して、感嘆文<How+形容詞[副詞]!>または<What+名詞を含む語句!>を理解する。 ○感嘆文の用法を理解し、二人のチャットについての問いに答える。 ○自分が興味をもった国についての特徴や所見をまとめる。				
5	◆自分がこれまで調べた内容を通じて、ペア相手に興味をもってもらえそうな内容をまとめる。 ○自分が今まで調べた内容を整理し、現在進行形や感嘆文など、様々な既習表現を用いた文を作成する。 ○相手に何をたずねるのかを考え、必要に応じて教科書から使えそうなフレーズを抜き取る。				ペア相手に興味をもってもらえるような内容になるよう、オンラインツアーを参考に紹介や説明、予想できる相手からの質問に答えられるように指導を行う。
6 本 時	◆自分が興味をもった国について、これまで調べてきた情報をペア相手に興味をもってもらえるようにチャットでやり取りする。 ○興味をもった国に留学中であることを想定して、そこからお互いにチャットでやり取りを行う。 ○ペア相手とオクリンクプラスのボードを使って、会話のやり取りを行う。 ○他のペアに自分たちがやり取りした内容を読み上げたり、全体にどんなやり取りをしていたのかを共有する。	書 ①			◎現在進行形や感嘆文の特徴やきまりを理解している。 <活動観察>
7	◆自身が調べてきた国についての情報をまとめ、読み手に興味をもってもらえるような広告紙を作成する。 ○オクリンクを使って、関心のある国について、これまで調べてきた情報をまとめる。 ○文章の内容に臨場感を出すために、写真	書 ②	書	書	◎関心をもった国の情報共有を通じて、自身が調べた国についてお互いが興味を持ってもらうために、その国がどのような場所で何ができる

	や絵など取り入れる。			<p>か情報や特徴について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。</p> <p>◎関心をもった国の情報共有を通じて、自身が調べた国についてお互いが興味を持ってもらうために、そこはどのような場所で何ができるか情報や特徴について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>
--	------------	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8 本時の学習指導

- (1) 目標 自分が興味をもった国について、ペア相手に興味をもってもらえるように伝える。
(2) 展開 (6 / 7)

過程	○学習活動・学習内容<<形態>>	指導上の留意点 ◎評価<方法>
導入 10分	○Warm-Up ・ Greeting <<一斉>> ・ Small Talk <<ペア A, ペア B>> 1'30/ pair “What is your favorite country?”	<ul style="list-style-type: none"> ・ ALT と生徒とのやり取り ・ 活動前に使えそうなフレーズを全体で確認する。また、中間指導で、分からなかったところを全体で共有する。 ・ 会話で使用したフレーズや黒板に書かれたフレーズをノートに書かせる。
展開 25分	○チャット形式の英会話活動 ・ 目的・場面・状況確認 <<全体>> ○教師によるモデルチャット <<全体>> ペア相手と Yoko と Mami のチャットで何のやりとりをしているのか確認しながら聞く。 ○ペア相手とオクリンクプラスのボードを活用して会話活動 <<ペア>> ・ ペア A とそれぞれボード上でやり取りする。	<div data-bbox="699 1245 1445 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学校のプログラムで、自分たちが興味をもった国へそれぞれ留学しており、近況報告をするために、チャットを使って連絡を取り合うことになった。そこでお互いが滞在している国の情報交換をすることになった。</p> </div> <div data-bbox="256 1496 1430 1608" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時の目標：ペア相手とお互いの留学先で今していることと、その国の特徴や見どころについて興味をもってもらえるように伝えたり、たずねたりすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャット映像を流す。 ・ モデル会話の中で、興味をもってもらえるように工夫したフレーズは何かを確認する。 ・ 質問も含めた全てのやり取りをボード上で活動させる。 ・ 適宜、教師は机間指導を行い、対話内容や表現等に対するフィードバックを行う。良い表現を探しておく。 ・ 中間指導をするとともに、それぞれのペア活動後にやり取りした内容を見返させ

	<p>《会話のイメージ》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Hi, how are you? B: I'm good. How are you? A: I'm great. What are you doing now? B: I'm doing my homework. How about you? A: I'm having lunch now. B: What food are you eating? A: I'm eating meat pie. It's Australian food. B: Sounds delicious.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア B とそれぞれボード上でやり取りする。 ・他のペアのやりとりを共有する時間 ・ペア相手と、他のペアのやりとりを見て、国の紹介をしている文を見付ける。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間指導で、現在進行形の文を正しく使えているかどうか、見本になるペアのボードをスクリーンで表示し、全体で確認する。 ・中間指導では、あいさつなど他愛もない会話から本時のねらいにふれられているか確認する。また、ペア相手に興味を持ってもらえるような伝え方のフレーズや工夫していることなど聞き取ったり紹介したりして全体と共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・内容面で優れているペアのチャットを共有するとともに、どの点がよいかを全体で考えさせる。 ・他のペアのチャットを見て、よい表現を見付けさせる。 <p>◎現在進行形や感嘆文の特徴やきまりを理解している。</p> <p><活動観察></p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>○本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今していることについて、現在進行形の文 <be 動詞+現在分詞>を正確に書けているかを確認する。 ・国の紹介でどのような表現があったのかを確認する。 <p>○Self-Evaluation 《個人》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシートを使って自己評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に興味をもってもらえるための伝え方はどんなフレーズなのかを確認する。 ・相手の情報を引き出すための表現を確認する。 ・自己評価をして目標に対する到達度を確認する。